



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月15日

大分県知事 殿

提出者
住 所 大分県豊後高田市西真玉1019-1
氏 名 (株)真玉キャトルファーム
代表取締役 桑原 勝洋
電話番号 0978-25-5789

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その
その処理で、提出します。

事業場の名称	株式会社 真玉キャトルファーム
事業場の所在地	大分県豊後高田市西真玉1019-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01農業(畜産業)
② 事業の規模	肉牛840頭
③ 従業員数	6人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 自ら堆肥化 動物の死体 化製場へ処理委託

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長 廃棄物処理方針の決定
各種事業の決定

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	6,495 t	5.7 t
	(これまでに実施した取組) 飼養管理の改善		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	6,518 t	5.0 t
	(今後実施する予定の取組) 飼養管理の改善		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	4,351 t	t
	(これまでに実施した取組) 完熟堆肥処理施設で処理した後、田畑にすきこんだ。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	4,352 t	t
	(今後実施する予定の取組) 完熟堆肥処理施設で処理した後、田畑にすきこむ。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	2,039 t	t
	(これまでに実施した取組) 完熟堆肥処理施設で処理した。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	2,166 t	t
	(今後実施する予定の取組) 完熟堆肥処理施設で処理する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	全 処 理 委 託 量	0 t	5.7 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 日大化成等の処理業者へ委託。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	全 処 理 委 託 量	0 t	5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 日大化成等の処理業者へ委託。		
※事務処理欄			